

令和8年度 学校経営方針

江戸川区立小岩第五中学校
校長 前本 大智

日本国憲法の精神及び教育基本法の目的、東京都・江戸川区の教育目標並びに、江戸川区教育大綱の目指す、「誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会」を目指して、生涯にわたって主体的に学ぶことのできる学習の基礎を養うこと、生命尊重の心を育て、国際社会や地域社会に広く貢献できる生徒の育成を願い、次の目標を設定する。

1 教育目標

・健やかな人・知性に富む人・心豊かな人・勤労を尊ぶ人

2 学校経営の理念

(1) 生徒の自己肯定感や自己有能感を高められる教育活動を推進する。

- ① 主体的な教育活動を通して、生徒の達成感や充実感を実感させ、教育活動に取り組む意欲を高める。
- ② 異学年の生徒やいろいろな大人（地域の人など）との交流活動を通して、個性や特性を見出し、相互の違いを発見し、お互いに認め合うことによって、自己肯定感を高めていく。
- ③ あらゆる場面で、生徒一人一人の努力や成長の様子を把握するように努め、生徒を直接、褒めたり励ましたりすることによって、自己有能感を高めるとともに、さらなる学習意欲向上へのモチベーションを高めていく。

(2) 保護者や地域に信頼される学校をつくる。

- ① 学校教育は「教職員への信頼」の土台のもとに成り立つことをしっかりと意識する。
- ② 教職員は社会人としての礼儀・マナーをしっかりと身につけるとともに、高い規範意識ももち、服務事故を絶対に起こさない精神を養う。
- ③ 保護者や地域からの要望や意見に対して、まず傾聴し真摯に受け止め、その上で学校にできることについては、子供たちのために誠心誠意努力していく。

3 基本的な考え方

(1) 学校の教育活動や校務遂行のすべては、生徒に通じるものであり、教育目標の達成を目指し実行する。

(2) 法令遵守の精神や学習指導要領等に基づいて学校経営・学校教育を組織的・計画的に行う。

(3) 「共生」・「共有」・「協働」を経営の基本3要素として、教育活動を行う。

① 共生

- 生徒・保護者・地域に信頼され、誇れる学校づくりを行う。
- 共に切磋琢磨して個人・集団・組織を成長させる。

② 共有

- 日常的な情報の全職員での共有化と、透明性を確保する。(報・連・相の徹底)
- 教職員相互の意見交換を行い、建設的な議論により学校教育活動を推進していくことを常態化する。

③ 協働

- 今を生きる学校建設の観点から、生徒・教職員共に活動する。
- 学校を良くしていくという目的意識をもち、教職員と生徒、保護者等が協力して行動していく。

4 基本方針

(1) 目指す学校像

- ① 生徒の基礎・基本の定着を図り、確かな基礎学力を身につけさせ、伸ばすことができる学校
- ② 生徒が意欲的に教育活動に取り組み、居心地の良い安全・安心な学校
- ③ 生徒の豊かな人間性や社会性を家庭とともに育む学校
- ④ 生徒の個性や特性をお互いに認め合うとともに、規律と活力のある学校

(2) 目指す生徒像

- ① 多様で変化に富んだ時代に希望をもって主体的・意欲的に生き、将来を切り拓くことができる生徒
- ② 小岩第五中学校で自らの課題に挑戦し、向上心と自立心の旺盛な生徒

- ③ 目標を達成するために、正しい方法論で、あきらめずに粘り強く主体的に取り組む生徒
- ④ たくましく豊かな心や自分だけでなく他に対して思いやりをもてる生徒
- ⑤ 基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒
 - 自らが成長する・・・目標をもち、自分の良さを知り、自らの資質能力を伸ばす生徒
 - 共に成長する・・・互いが切磋琢磨し、個人・集団として高まろうとする生徒
 - 心を磨く・・・人を思いやり、いじめがなく、お互いを認め合う生徒
 - 形を磨く・・・岩五生らしい服装、態度、あいさつ、姿勢、行動をする生徒
 - 地域に貢献する・・・地域の一員として、地域活動に意欲的に参加する生徒

(3) 目指す教師像

- ① 生徒一人一人の成長やそれを支える教育活動に最大の努力を惜しまない教師
- ② 社会人、教育公務員としての法令・サービスを遵守し、使命感と自己研鑽に励む教師
- ③ 分かる授業の中で、興味・関心を喚起する授業を行い、学びに向かう意欲を育てる教師
- ④ 教師として品性をもち、人権に配慮した言動と指導ができる教師
- ⑤ 組織の一員として、組織的かつ責任ある職務の遂行ができる教師

5 重要課題

- (1) 職務の適正な進行管理と確実な遂行
- (2) O J Tの効果的な推進
- (3) 生活習慣の定着と学習習慣の向上と基礎学力の獲得
- (4) 特別な支援を要する生徒への校内体制と特別支援教育の充実と理解
- (5) 組織力向上と危機管理体制の充実
- (6) 人権教育の徹底、いじめのないよりよい人間関係の構築
 - いじめ即時解決（解消率100%を目指す。早期解決。未然防止。）
- (7) 課題解決に向けた分掌組織の活動と提案
 - 各教員の意識を高め、課題と改善策を見いだしていく。（教育活動を推進していくための建設的な議論を進めていくために必要と考える。）
- (8) 学校便り・ホームページの充実による学校情報の的確な提供
 - 保護者や地域等が安心して情報を取得できることを目標とする。
- (9) 道徳教育の充実
 - 全体計画に基づく計画的な実施（年間35時間の実施）
- (10) 現行行事を踏まえた効果的な実施・改善
 - 目的の明確化、効率のよい準備、異学年とのつながりを配慮した実施、安心・安全を徹底した上で、実施形態の効率的な運営方法や工夫・改善に取り組む。
- (11) ボランティアマインドを向上させ、郷土・地域に意欲的に参加する生徒の育成

6 今年度の重点項目

(1) 特別支援教育の充実

- ① 特別な支援を要する生徒に対して、適切な指導を推進するために、SC, SSW との綿密な連絡を欠かさず校内特別支援委員会を活用し、関係機関と連携し、専門的な助言を受け対応していく。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心に個別支援計画を作成し、個に応じた支援と指導を行う。
- ③ 学習面において、特別な支援を要する生徒に対して、エンカレッジサポーターや巡回指導教員と連携して支援を行う。
- ④ 特別支援学級との交流活動を意識し、積極的に学校活動を一緒に行う。

(2) 確かな学力の定着

- ① 基礎・基本の定着の向上を図るため、反復練習や学習課題に取り組み、家庭学習の定着を目指した授業の確立を行う。
- ② 本科の授業、朝の学習、読書の時間「build-up time」や江戸川区立学校放課後学習教室「EDO スク」、i P a d内学習コンテンツの活用等を通して、適切な課題設定により、学習意欲の向上と基礎学力の定着を確実に図る。